

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立福住小学校 第3学年児童 111名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、道徳、社会、特別活動、体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市の学校教育の重点の札幌らしい特色ある学校教育に位置付けられている「北国札幌らしさを学ぶ【雪】」にかかわって、ウィンタースポーツを窓口として「ふるさと札幌」を愛する心の育成を図る。 1972年の冬季札幌オリンピックによって、札幌が発展したことを理解し、オリンピック・パラリンピックの精神や札幌の未来について考えることで、「する・見る・支える・知る」という運動やスポーツの楽しみ方を知り、かかわる態度の育成を図る。
5 取組内容	<p>オリンピック・パラリンピックについての交流で生まれた目的意識をもって札幌ウィンターミュージアムで見学をする。</p> <p>その後、見学を通して学んだことを生かして、主体的に「〇〇オリンピック」を開催する。自分たち開催することを通して、札幌オリンピックについて考えたり、「北国札幌」のよさについて交流したりする。</p> <p>○指導計画 [6時間扱い] [総合的な学習の時間] 1時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックについて知っていることを交流し合う。 <p>[札幌オリンピックミュージアム見学]</p>

(道徳1時間・社会1時間)

- ・阿部雅司氏の講演・施設内見学・展望台での札幌市の様子を見学する。

[〇〇オリンピックを開こう]

(特別活動1時間・体育2時間)

- ・みんなが楽しめる大会にする方法を考えながら、工夫して運営・参加する。



・シアタールームでの阿部雅司氏による講話。

・阿部雅司氏と展望台から札幌市の様子を見学する児童。



・体験施設で阿部雅司氏のアドバイスを受ける児童。

6 主な成果

- ・平昌オリンピックが開幕して日本選手メダル獲得ニュースが報じられるタイミングでの学習導入となり、子どもたちの関心は高く、1時間目の学習ではオリンピック・パラリンピックについての交流が充実したものになった。
- ・札幌オリンピックミュージアムでのリレハンメルオリンピック金メダリスト阿部雅司氏の講話では「諦めずにチャレンジすること」「相手の立場になって物事を考えること」「目標や夢を口に出して

	<p>言うこと」「つらい時こそ笑顔でいること」の大切さを聞き、自分でもできることがあると真剣考えることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌オリンピックミュージアムの施設見学や展望台見学を通して、札幌オリンピック開催で札幌のまちが発展したことを学ぶことができた。 子どもたちの心に生まれたオリンピック・パラリンピックへの親しみや憧れの気持ちを大切に「〇〇オリンピックを開こう」では、子どもが主体的となった学びを展開することができ、「みんなが楽しむこと」「仲間を大切にすること」のよさを実感することができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学の時間がタイトなスケジュールとなった。開館時刻を早めたり、昼食を施設で食べたりするなどの工夫ができれば、より充実した学習を組むことができる。 課題解決的な学習がより充実できるように、総合的な学習の時間に位置付けることが重要である。その際、他の教科・領域との関連を整理することで、より意義のある実践とできる。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。